



進んで学ぶ子
思いやりのある子
元気な子

なりたい自分に向けて 一歩前進

学校だより No. 304

麻 姑 の 手

垂水市立新城小学校

<http://www.city.tarumizu.lg.jp/shinjo/kurashi/kosodate/gakko/shinjo/> 令和4年9月15日(木)

稲盛和夫氏から学んだこと

学校長

長い夏休みが終わりました。コロナ第7波で感染者数が膨れ上がり、2学期のスタートが心配される中、19名の児童と11名の教職員全員がそろって始業式を迎えることができました。子供のたちの日常の健康・安全を見守ってくださった保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。

さて、夏休みの期間中の8月24日、多くの人に惜しまれながら京セラの創業者であり、我が国経済界に大きく寄与された稲盛和夫氏が亡くなりました。鹿児島市出身であり、御自宅が私の通う京都の大学の近くでもあったため、稲盛氏の経営哲学には関心があり、残された様々な名言もよく読んでおりました。中でも私が好きな言葉は以下のものです。

- ・ 世の中に失敗というものはない。チャレンジしているうちは失敗はない。あきらめた時が失敗である。
- ・ 現在の能力でできる、できないを判断してしまえば、新しいことや困難なことはいつまでたってもやりとげられません。
- ・ 今日の成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる。
- ・ 夢に酔っていればこそ、それを実現させる情熱が湧いてくるのです。
- ・ 瞬間、瞬間を完全燃焼すること。その点の連続が未来につながる。

本年度の学校経営のスローガン（学校経営の主軸として考えていること）を、「新城らしい GIGA スクール 新城だからこそできるふるさとへの学び」と掲げております。これまでもやってきたことを大切にしながら新しいことにチャレンジしていくことが大切だと考えます。新しいこと（夢）に向かい、情熱を持って、未来に向かって努力していくこと。創立151年目という新たなスタートの今だからこそ大切だと思っています。2学期始業式でも、子供たちに「目標をもつこと、そして目標を達成するために具体的な方法を考えること」と話しました。なりたい自分に向けて、一歩前進するために、あきらめず、具体的に努力する新城っ子になって欲しいからです。

これからも、稲盛和夫氏が残された多くの名言を自分なりに解釈し、新城小を、新城地区を盛り上げていけるように尽力したいと思います。

「いつまでも ずっと」

垂水市社会福祉大会において垂水市保健・福祉作文コンクールの表彰式があり、新城小学校卒業生（現垂水中央中1年）のH・Mさんが中学生の部最優秀賞に選ばれ、表彰及び発表がありました。Mさんの作文は、自分がふるさと先生からしていただいたことを、これからどのように恩返しできるかを自分の目線から考え提案したもので、故郷新城に対する「愛」があふれており、聞いていると目頭が熱くなるものでした。許可をいただき、本学校便りの裏面に全文を掲載いたします。ぜひお読みください。

消防団・地域・保護者による愛校作業



地域・消防団・保護者・子供・職員の総勢70人が汗を流し、学校をきれいにしました。そのおかげで気持ちよく2学期ができ、子供たちは運動会の練習を頑張っています。御協力ありがとうございました。

落花生がたくさん穫れたよ



ふるさと先生と一緒に4月に植えた落花生を収穫しました。土の下にたわわに実っている落花生に、宝物を見つけたかのように目を輝かせていた子供たちでした。

■ 受賞おめでとうございます！！

〈肝属地区小学校社会科作品コンクール〉

【県審査へ】5年 T・J

〈県児童作文コンクール垂水市審査〉

【特選】2年 T・E [地区審査へ]

〈南日本硬筆展〉

【推薦】4年 O・R 5年 T・J

6年 N・K

■ 9・10月の主な行事（18日以降）

9月29日(木) 運動会準備 14:10～

※保護者・校区合同で準備を行います。

【30日(金) 運動会準備予備日 14:10～】

10月 2日(日) 第17回新城小学校・校区合同運動会

【3日(月) 合同運動会予備日】

10月 5日(水) 芋掘り 8:30～ 【予定】

8日(土) ものづくり体験教室 9:35～

※講師：埼玉県在中新城出身 小谷 孝夫さん

11日(火) 鹿屋体育大学出前授業【2回目】

19日(水) 柊原小・新城小二校集合学習

【本校で実施】

20日(木) 地域の方による読み聞かせタイム

稲刈り 10:40～ 【予定】

25日(火) 小・小連携交流学習(5年生)

垂水中央中体験入学(6年生)

28日(金) 市小学生陸上記録会